

## 個別の指導計画

生徒氏名 A

2年組

記入者氏名

1学期	2学期	3学期

## 1 実態

項目	実態	配慮
健康の保持	<p>体位 身長147.2 cm 体重38.9 kg 平熱36.0            生活のリズム：安定している。            通年の体調：元気であり、年1回ほど風邪等で欠席する程度。            発作：なし            食事・水分補給（食欲・食事形態・食事姿勢など）            中学2年時より学校での給食は摂らなくなり、療護園に一度帰り給食を摂っていた。本校に入学し試行錯誤の結果、現在ではペースト状にした給食を牛乳と混ぜて摂取している。完食できている。療護園ではスプーンを使い自力で、母親と一緒に母親が持ったスプーンを自分の手で持ち口に運ぶ、という3種類の方法を使い分けている。食欲は常に旺盛。水分は自力でコップで飲むことができる。</p> <p>排泄            定時排泄トレーニングの結果、大便に関しての失敗はほぼ無くなった。特に週末帰省を意識してか、月曜か金曜に出る場合が多く約9割に達する。小便に関してはまだタイミングがつかめず、確立していない。</p>	<p>学校で固形物を食べないことをプレッシャーに感じないように、食事を強要せず、リラックスした雰囲気や昼食の時間をもてるようにする。</p> <p>尿意が意識できるように、おむつからパッドに変更したり、さらにパンツにする等段階を追う。</p>
身体の動き	<p>移動の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCWと車椅子と四つ這いを使い分けることができる。</li> <li>・PCW：今後はメインの移動手段とする。自在に方向転換をこなし、駆け足程度の早さで扱える。</li> <li>・車椅子：非常に好んで乗りたがるが、校外学習限定。</li> <li>・四つ這い：一番楽な移動手段。どこへでも素早く移動できる。</li> <li>・階段昇降：登りは交互に足を上の段に上げることができる。下りは両足を揃えてからでないとな下の段に足は降ろせない。</li> </ul> <p>体幹：特に問題はない。            上肢：右利き。左手はまひがあり、必要な時に添えることはできる。            下肢：つま先立ち。右足の方が少し強靱なようだ。気持ちが高揚すると突っ張り内転する。            姿勢：座位は安定している。立位では腰が引けた状態で安定する。</p>	<p>今後の最終目的である独歩に向け、PCWでの移動を基に、ロフトランド・クラッチ等の使用も状態に応じて考慮する。            励ましながら階段昇降を行い、本人のやる気を応援し効率化を図る。            ストレッチも取り入れる。</p>
環境の把握	<p>視覚：測定不能だが、遠くの人物を見分けられたりしているので、問題はないと思われる。            聴覚：測定不能だが、音に敏感であることは確かで、離れていても小さな人の声を判別できたりしている。            触覚：手のひらが汚れることを嫌う。</p>	
心理的な安定	<p>表情・情緒            自分の意にそぐわない状況になると、大声で騒ぎ、自傷・他害行為がある。表情は豊かで、機嫌の良い時には満面の笑顔を見せる。また悲しいときには涙を貯めて泣くこともある。</p> <p>興味・関心            ポケットモンスターのピカチュウばかりに関心が集まっていたが、徐々に興味の範囲が広がり、英語のビデオがお気に入りになっている。時間さえあれば「えいごリアン」のビデオを視聴している。職員の靴やスリッパに多大な興味があり手に履いて四つ這いで歩きたがるが、衛生面を考え禁止している。</p> <p>意欲・態度            自分の興味・関心のあるものに対しては長時間に渡って集中して取り組むことができるが、嫌なことに対しては拒否反応が強く、</p>	<p>気持ちが不安定になりそうな時には、周りの環境に配慮し、怪我に気をつける。興味のある物に対して割く時間を徐々に少なくして、依存度を他にも分散できるようにする。            興味・関心のあるものの幅を上げられるように、様々な教材を提示できるようにする。            集団活動の中に本生徒が興</p>

	<p>大声を出したり、自傷・他害行為に及ぶことがある。</p> <p>集団参加（場面への適応）</p> <p>状況判断が的確であり、集団に直接参加はできなくても、周辺から離れることも少なく、教員が直に触れ合いながら付き添えば、時間内静かに参加することも可能になりつつある。</p>	<p>味を持って参加できるような場面も作る。</p> <p>指導者との信頼関係を築くことに重点を置き、心理的安定を図る。</p>
コミュニケーション	<p>応答性（ことばの理解など）</p> <p>音声による情報には敏感で、通常の簡単な会話や指示であれば、ほぼ理解できていると思われる。言語として表出していなくても的確な反応をすることが多い。</p> <p>意思の表出・表出手段（発声・身振り・写真・記号・文字など）</p> <p>行動に対しての好き嫌いがはっきりしており、言語や行動により自分の意志を表現することができる。</p> <p>大人と関わることを好み、誰とでも交流を深めることができる。</p>	<p>日常使用する言葉を、理解しやすい簡潔な単語を中心に構成できるように努める。</p> <p>本人の意思を尊重し、可能な範囲で自由な意志表示ができるよう支援する。</p>

## 2 学校以外の施設・機関の利用

<p>G 整肢療護園の訓練</p> <p>月曜・金曜 14:20～15:00 理学療法士</p> <p>水曜 14:20～15:00 作業療法士</p>	<p>園の療法士との連携を深めることにより、自立活動等学校での指導の専門性を高める。</p>
------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------

## 3 保護者のニーズ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望 本校卒業後：入所施設希望。肢体不自由関係の施設が適しているのか、知的障害関係の施設が適しているのか、迷っている。今後施設見学等を通して情報を収集して絞り込んで行きたい。</li> <li>・学習面（こんな学力や能力を身に付けてほしい） 国語に関しては、ひらがなは大体読めるようになったので、カタカナの学習に取り組めたら、と考えている。数学に関しては、数唱は二桁までできているが具体物と結びついていないので、せめて一桁の範囲で数と具体物の関係が分かるといい。</li> <li>・生活面（こんな生き方をしてほしい） 昼食に関して、中3から学校では摂ることができなくなった。高1ではペースト状にしたものならば摂れるようになったので、通常の状態で摂れるようになってほしい。自分の気に入らないことがあっても、自傷行為はともかく他傷行為はしないようになってほしい。トイレに関しては現在おむつでカバーしているが、小便是教えられる時期もあったので、トレーニングを重ね、トイレでできるようになって欲しい。</li> <li>・その他</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 4 進路に関わる記録

### 進路相談の記録

日付	出席者	形態（場所）	内 容
4月26日	母親	教室	今年の実習はR（入所施設）をお願いするが、まだどんな施設が良いのか決めかねている。夏休みにまた施設見学をしたい。

### 現場実習の記録

実習先	時期	内 容
R（入所施設）	6月7日	ピース通し、給食体験

## 5 年間指導計画

指導形態 または 活動名	目 標	指 導 内 容		
		1 学期	2 学期	3 学期
日常生活の指導 （登校）	・自主的に朝のあいさつをする。	・出会った人個々にあいさつする習慣をつける。 ・相手をよく見てあいさつする。		

(朝の会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一日の流れを知り、見通しを持って学習に取り組む。</li> <li>日直等の役割を確認し、遂行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日付、曜日、天候、授業予定を専用マグネットボードで確認する。</li> <li>極力、自分の意志で予定ボードを完成に導く。</li> </ul>
(食事)	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事の開始と終了を意識する。</li> <li>徐々に固形のまま摂取する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日直の他に、毎日の健康観察記録簿を保健室まで持って行く仕事に重点を置き、最低限の指示で遂行する練習をする。</li> <li>食事をする、あるいは楽しみにできる気持ちを持たせる。</li> <li>牛乳に混ぜ込むおかずの形態を徐々に変え、スプーンですくって食べる、等の細かなステップを踏めるようにする。</li> </ul>
(排泄)	<ul style="list-style-type: none"> <li>定時排泄に慣れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大便是確実にし、尿意も伝えられるようにする。</li> <li>排泄、という行為を意識する。</li> </ul>
(清掃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の分担箇所を自主的に清掃する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室を綺麗に使う、という意識を持ち、丁寧に行う。</li> </ul>
(下校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>立ち止まることなく目的地を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的意識や時間の概念の学習も取り入れ、スムーズな下校を目指す。</li> </ul>
生活単元学習 (現場実習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業を通して自分の進路に関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の授業との違いを理解し、あいさつや準備・後片づけを自主的に行えるようにする。</li> <li>効率よく作業に取り組む。</li> </ul>
(国語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に役立つ基本的な内容を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な単語の収録されている絵本等を繰り返し読むことにより、語彙の定着を図る。</li> </ul>
(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に役立つ基本的な内容を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10以下の数と具体物の対応を繰り返し学習することにより、数量の概念の基礎を築く。</li> </ul>
(英語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ等の簡単な定型表現を覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耳からの情報を重視し、CDやビデオ等の教材を視聴することにより、より自然な英語の発音を身につける。</li> </ul>
(美術)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面作品や立体作品の製作を通して自由な発想で気持ちを表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種画材を使い、写生等を行い、自由にデッサンや彩色をする。</li> <li>身近にある素材を生かした立体作品を、自由な手法で制作する。</li> </ul>
(劇を作ろう)	<ul style="list-style-type: none"> <li>劇作りを通して自分の気持ちを表現したり、仲間と協力する態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発音、速度、声の大きさに気をつけて発音の練習をする。</li> <li>登場人物の気持ちを理解することによって情操を豊かにする。</li> <li>一つの作品を集団で制作する活動を通して、仲間と協力していこうとする態度を育てる。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽活動を楽しむ態度を育てる。</li> <li>音楽的能力の基礎を養い、コミュニケーション能力を高める。</li> <li>心身をリラックスさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はじまりの歌、終わりの歌、コミュニケーション：授業のはじまりと終わりを意識する。呼名や教師の問いかけにしっかり応える。</li> <li>歌唱：進んで声を出し、のびのびと自己表現する。声を合わせて歌う喜びを味わう。</li> <li>器楽：楽器に触れ、音を出すことを楽しむ。</li> <li>リズム遊び：手遊び、リズム遊びを通して、音楽的能力を培う。</li> <li>合唱、合奏：一体感や達成感を味わい、コミュニケーション能力を高める。また自分の役割を意識し、周囲と合わせることを学ぶ。</li> <li>鑑賞、リラクゼーション：音楽的感性を高め、心身を解放する。</li> </ul>
保健体育 (身体ほぐし運動) (ニチレクボール) (ゴロバレー) (身体障害者スポー	<ul style="list-style-type: none"> <li>体調を整えたり仲間と交流しながら運動を行う。</li> <li>自分の能力に合った運動をする。</li> <li>グループ内で協力して対象物をコントロールする。</li> <li>積極的に体を動か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人の運動能力、機能に応じた参加を促す。</li> <li>道具の使用や転倒、接触等安全面に十分留意する。</li> <li>チームで協力し、互いに助け合ってゲームに取り組み、協調性を身に付ける。</li> <li>個人の能力に応じ、基礎体力を向上させる。</li> <li>能力を最大限に生かし、チームの一員としての役割を果たす。</li> <li>自分でできることを探し、積極的にゲームに参加する。</li> <li>リーグ戦形式の試合を行い、勝敗に興味を持ち、チームの団結力を高める。</li> </ul>

<p>ツ大会) (ゴロサッカー) (ティーバ ッティン グ)</p>	<p>す。 ・参加種目のルールを 理解して練習に 取り組む。 ・チームの一員とし ての自覚を持ちな がら行う。 ・自分の力を最大限 に生かし、チーム に貢献する。</p>	<p>・出場種目の内容を理解し、記録が伸ばせるように考え取り組む。 ・仲間の出場種目にも目を向けさせ、応援する気持ちを養わせる。</p>
<p>作 業 (空き缶つ ぶし等)</p>	<p>・持続力を養う。 ・作業量を増やす。 ・いろいろな作業を 試みる。 ・主体的に作業に取 り組める。</p>	<p>・空き缶つぶし機を使って、より多くの空き缶をつぶす。 ・より多くの工程を自分の力で遂行できるようにする。 ・空き缶つぶし以外の作業種についても取り組んで、作業の可能性を広げる。 ・取り組んだ成果を達成感に結びつける活動を取り入れる。</p>
<p>自立活動</p>	<p>・基礎的な生活習慣を 細かな段階を追 って改善する。  ・状況に応じた適切 なコミュニケーション 能力を培う。  ・身体移動をより高 度な形態にして、 日常生活全般のQ OLの向上を図 る。</p>	<p>・食事摂取の時間や、量、食物形態、摂取時の介助方法を、段階に合ったものにしていく。また療護園とも連携して共通理解の元の指導を行う。1(1) ・尿意を伝える訓練を重ね、トイレでの排尿を目指す。1(1) ・大便に関しては心配はないが定時排泄を完全なものにするため継続して指導を行う。1(1) ・相手を意識して話す会話の訓練を通し、適切な対人関係を築く。同時に正しい言葉遣いの獲得を目指し、物のやりとり等の機会を多く設定し、会話のキャッチボールの練習を繰り返し定着を図る。2(2) ・PCWでの日常的な歩行訓練や、手すりにつかまっただの階段昇降訓練を通して、基本的な体力向上を目指すとともに、より安定性・独立性・持久性のある歩行を目指す。4(4) ・クラッチでの歩行練習を開始し、卒後の施設入所を視野に入れ、独歩に近い形での歩行を目指す。4(4)</p>
<p>総合的な学習の時間 (買い物学 習) (交流活動)  (環境美化)  (栽培)  (社会参加)</p>	<p>・買い物に関する実 体験をする。 ・他校生との交流を 通して視野を広げ る。 ・周りの自然環境に 関心を持つ。 ・栽培や収穫の喜び を味わう。 ・公共の場所での適 切な過ごし方を身 につける。</p>	<p>・事前学習で買い物に関する数学の学習や計画について学習する。 ・店舗に買い物に行き、自力で遂行できる部分を増やす。 ・渋川青翠高校、あさひ養護学校、高崎女子高校との交流により、生徒どうしの関わりを深める。  ・校舎内外の環境美化活動を行い、花壇作り等を推進する。  ・農作物等の栽培を行い、手入れをしたり、収穫をすることにより、自然に対する関心を高める。 ・校外学習に出かけ、行動・対人関係等適切な判断ができるようにする。</p>
<p>地域生活 (読み語り ・クラフ ト)</p>	<p>・言語の受容能力を 高める。 ・作業に必要な基本 動作を習得する。 ・場に応じた言葉遣 い等のコミュニケ ーション能力を育 成する。</p>	<p>・本や紙芝居の読み語り、朗読劇等を通して音声言語から物語の内容を受け止め、場面や登場人物の気持ち等を考える。 ・粘土、革細工、まゆ、季節行事を彩る物作り等を通して両手の協応、目と手の協応等、作業を円滑に遂行する能力を高める。 ・日常接する人以外に接することで、状況に応じた言葉遣い等のコミュニケーション能力を高める。</p>

6 評価